



ローデ・シュワルツとLITEON社が、PVT360Aを用いて高スループットな5Gフェムトセルのテストを実証

ローデ・シュワルツとLITEON社は共同で、高スループットなマルチデバイス試験を生産現場で行うために最適化したテストセットアップをMWC Barcelona 2026に出展します。今回のデモンストレーションでは、ローデ・シュワルツのPVT360A高性能ベクトル・テスタを用いて、被試験デバイス（DUT）であるLITEON社の新しいFlexFi 5Gフェムトセル4台を同時に特性評価します。このセットアップを通じて、同テストプラットフォームがさまざまな生産・検証環境への適応性を備えており、しかも、そのすべてがコンパクトなフォームファクタに集約されていることをわかりやすくご紹介します。



キャプション：PVT360Aを用いた高スループット5Gフェムトセル試験の共同デモンストレーション。

ローデ・シュワルツは、最小限のフットプリントで最大限の性能を発揮するPVT360A高性能ベクトル・テスタを開発しました。5G NR FR1およびLTEスモールセルの設計検証段階から生産段階にまで対応できるノンシグナリング・テストのための包括的ソリューションとなっています。LITEON社は、このテストプラットフォームを新しいFlexFi 5Gフェムトセルの製造ラインに採用して、テスト全体のスピードを50%も高めました。MWC 2026では私ども両社から、1台のPVT360Aで4台のDUTの特性を同時に評価するというフェムトセル生産向けテストセットアップを紹介します。

このベクトル信号発生器（VSG）とベクトル・シグナル・アナライザ（VSA）をワンボックスに収めたソリューションは、R&S VSE Vector Signal Explorerソフトウェアとシームレスに連携して効率的で高性能なRFテストを実現し、信頼性の高いタイミング検証を含めた包括的な5G NRダウンリンク/アップリンク信号解析を可能にします。しかもPVT360Aは、5G生産テストの大幅な高速化と設計検証ワークフローの効率化を実現できるように開発されており、革新的な2x8ポート・アーキテクチャの採用したうえ、リソースの割り当てを動的に最適化する独自機能Smart Channelも搭載しています。そのため、メーカーの皆様は、より短時間により多くのデバイスをテストでき、テストのスループットが劇的に向上します。

また、PVT360Aはその基本的なテスト効率の高さに加えて、オプションのデュアル信号発生器/アナライザを用いれば、マルチコンポーネント・キャリア・テストや高精度なMIMO測定といった高度な5Gシナリオにも対応できます。こうした速度・汎用性・複雑な5G技術のサポートを兼ね備えたPVT360Aは、5Gデバイスを迅速に量産展開して、最先端の性能を提供していきたいとお考えのメーカーにとって極めて重要なツールとなります。

5Gフェムトセル製品の生産効率と品質を向上させるため、LITEON社はPVT360A高性能ベクトル・テスタを製造ラインに組み込み、キャリブレーションと検証プロセスを完全自動で行うことに成功しています。なにより、PVT360A独自のSmart Channel技術を活用することで、1台の装置で4台の5Gフェムトセルを同時にテスト可能になりました。このような能力の強化によって、全体的なテスト速度が50%向上して生産スループットが大幅に高まったうえ、優れた製品品質を一貫して維持できるようにもなっています。

LITEON社でSmart Life Application戦略事業単位のゼネラルマネージャを務めるRichard Chiang氏は次のように説明しています。「製造エクセレンスを高めるため、当社はローデ・シュワルツとの長期的なパートナーシップを結ぶ考えです。ローデ・シュワルツのPVT360Aプラットフォームを取り入れて、当社の試験プロセスの自動化と精度をさらに高い水準に引き上げ、製品が一貫して市場で最も高い基準を満たすよう保証していくのが狙いです」。

また、ローデ・シュワルツの無線機テスタ担当副社長Goce Talaganovも次のように述べています。「PVT360Aプラットフォームによって、LITEON社が推進するスマート生産戦略を支援できることを光栄に思います。LITEON社が高いスループットと安定した品質を実現できていることは、当社のスケラブルなマルチポート・アーキテクチャとSmart Channel技術あれば、生産効率をいかに改革可能であるかを実証しています。今後も協力関係をさらに深めて、5Gスモールセル生産分野でいっそう大きなイノベーションを実現していけるものと期待しています」。

2026年3月2～5日に開催されるMWC Barcelona 2026にお越しいただければ、ホール5・小間番号5A80のローデ・シュワルツ展示ブースにおいて、高スループット5Gフェムトセルをテストする共同デモンストレーションを実際にご覧になれます。

ローデ・シュワルツのスマートセル・テスト向けソリューションについて、詳しくはhttps://www.rohde-schwarz.com/solutions/wireless-communications-testing/mobile-network-infrastructure-testing/small-cell-testing/small-cell-testing_256717.htmlをご覧ください。

www.rohde-schwarz.com

お問い合わせ：

欧州（本社）：Christian Mokry（電話：+49 89 4129 13052、email：press@rohde-schwarz.com）

北米：Hannah Im（電話：+1 301 957-8357、email：hannah.im@rsa.rohde-schwarz.com）

アジア太平洋地域：Cheyenne Chui（電話：+65 6307 0053、email：press.apac@rohde-schwarz.com）

LITEON社について

1975年に設立のLITEON Technology Corporation社（台湾証券取引所：2301.tw）は、以来50年以上にわたり、最先端の光エレクトロニクス技術と電源管理技術でグローバル市場に確固たる地位を築いてきました。通信およびネットワーク分野では、5Gスマートセルや0-RAN無線ユニット、プライベート・ネットワーク・システム、AIoTアプリケーションを専門としています。屋内/屋外用スマートセルや0-RAN準拠のRUなどを含めたエンド・ツー・エンドの5Gソリューションを開発しており、グローバルなエコシステムのパートナー企業と緊密に連携しながら、業界に特化した技術革新を力強く進めています。その強力な研究開発能力と大規模な生産能力、そして柔軟なグローバル・サプライチェーンを組み合わせ、スマート製造と持続可能性を見据えた高性能で省エネルギーな製品を提供しています。

詳しくはwww.liteon.comをご覧ください。

ローデ・シュワルツについて

ローデ・シュワルツは、電子計測、技術システム、ネットワークおよびサイバーセキュリティの各部門を通じ、より安全に“つながる”社会の実現に向けて努力を重ねています。グローバルな技術指向のグループとして、90年にわたって先端技術の開発を続け技術の限界を押し広げてきました。当社の最新製品やソリューションは、産業界や規制当局および行政機関のお客様がデジタル技術の主権を得るためのお力添えをしています。ドイツ・ミュンヘンを拠点としたプライベートな独立企業であり、長期的かつ持続的な経営を行える体制を構築しています。ローデ・シュワルツは、2024/2025会計年度（7月から6月）には31.6億ユーロの純収益を上げました。また、2025年6月30日現在、ローデ・シュワルツでは約15,000名の従業員が全世界で活躍しています。

R&S®は、Rohde & Schwarz GmbH & Co. KG. の登録商標です。

すべてのプレスリリースは、画像のダウンロードを含め、<http://www.press.rohde-schwarz.com>からインターネットでご提供しています。

東京都品川区西品川1-1-1 住友不動産大崎ガーデンタワー20階

〒141-0033

関野 敏正

電話番号：+81 3 5925 1270/1290

Toshimasa.Sekino@rohde-schwarz.com

www.rohde-schwarz.com/jp